デジタルワイヤレス補聴援助システム　Roger(ロジャー)

ワイヤレスマイクロホン(送信機)

ロジャー　インスパイロ
Roger inspiro

取扱説明書

0682

PHONAK
life is on

はじめに

このたびはフォナック社の デジタルワイヤレス補聴援助システム Roger（ロジャー）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
Roger（ロジャー） inspiro（インスパイロ） は、教育用にデザインされたワイヤレスマイクロホン（送信機）です。ご利用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本書にご不明な点がございましたら、本書裏面の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意 …… 7

1. 本体および付属品 …… 11

2. 本体各部の名称 …… 12

3. Roger の基本スペック …… 13

4. Roger の互換性について …… 14

5. Roger inspiro を使用する前の準備

5-1. 補聴器/人工内耳の準備 …… 15

5-2. Roger 受信機の準備 …… 16

5-3. Roger inspiro の準備 …… 17

6. Roger inspiro を装着する

6-1. Roger inspiro 本体を装着する …… 19

6-2. iLapel マイクを装着する …… 21

6-3. EasyBoom マイク（オプション）を装着する …… 22

7. Roger inspiro の基本的な使い方

7-1. “Roger のみ”で使用の場合 …… 23

7-2. “Roger + FM”で使用する場合 …… 24

8. Roger inspiro の便利な機能を使いこなす

8-1. ミュート（マイクロホンの消音） …… 26

8-2. キーロック（誤操作防止） …… 26

8-3. JoinNet
もう1台の Roger inspiro をネットワークに参加させるときに、
Roger inspiro 以外のネットワークに参加している機器から ID をコピーする機能 …… 27

8-4. SubNet
ネットワークに参加している子機の Roger inspiroと、
特定の受信機との間に一時的なネットワークを組む機能 …… 28

8-5. NewNet
新たなネットワーク ID を作成する機能 …… 30

8-6. マイクロホンを複数台使用するときの親機、子機の優先順位を変更する …… 30

8-7. Roger inspiro の機器情報を確認する…… 31

8-8. Check
ネットワークに参加している機器の情報を読み取る機能…… 31

8-9. 管理
受信機の各種設定を変更する機能 …… 32

Roger 受信機の設定

1. 自動音量調整（Roger 音量を調節します）

2. 初期設定（初期状態にリセットします）

3. CI モジュール（人工内耳用の設定を行います）

ダイナミック FM 受信機の設定

4. Ch 検出
（先に使われているチャンネルを検出し、
FM 受信機のチャンネルを自動的にそのチャンネルに変更します）

5. 受信機確認（受信機に登録されている情報を確認します）

6. Ch 情報（送受信機のチャンネル情報を確認します）

7. Channel 変更（送信機のチャンネルを変更します）

8. FM 音量微調整（FM 音量を微調整します）

9. ビープ音設定

10. ボタン無効（FM 受信機 MLxi のプッシュボタンの設定します）

8-10. ネットワークに参加している機器を表示する…… 37

8-11. ネットワークに参加している機器の使用時間を確認する…… 38

8-12. 近くで使われていない FM チャンネルを確認する…… 38

9. その他の設定

9-1. メニュータイプを変更する …… 39

9-2. Roger inspiro のソフトキーをカスタマイズする …… 39

9-3. アラームの設定…… 40

9-4. 時刻の設定…… 40

9-5. ディスプレイの設定 …… 41

9-6. 言語の選択 41

10. Roger デジマスター（線音源スピーカー）を利用する

10-1. Roger デジマスターをネットワークに追加する 42

10-2. Roger inspiro から Roger デジマスター（線音源スピーカー）の音量を調節する 42

10-3. Roger inspiro から Roger デジマスター（線音源スピーカー）の外部入力端子に入力された音量を調節する 42

11. Roger inspiro の外部入力端子に外部音響機器を接続する 43

12. 検証モード 44

13. ヘルプ 45

14. トラブルシューティング 46

15. 保証期間とアフターサービス 49

16. 補足

補足1：FM チャンネル 51

補足2：外部マイクロホンの交換 52

安全上のご注意(必ずお守りください)

■お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■以下に示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
■次の表示区分は表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

Roger inspiro、バッテリーの取り扱いについて

⚠ 危険

- 弊社が指定したバッテリーを必ず使用してください。指定以外のバッテリーを使用した場合、Roger inspiro やバッテリー、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 火のそばや直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所で使用したり放置したりしないでください。機器の変形、故障、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

⚠ 警告

- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液、発熱、破裂、発火の原因となります、
- 使用中や充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに以下の作業を行ってください。そのまま使用すると発熱、破裂、発火またはバッテリーの漏液の原因となります。
    1. 電源プラグをコンセントから抜く。
    2. Roger inspiro の電源を切る。
- 航空機内など電子機器の使用を禁止された区域では Roger inspiro の電源を切ってください。電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従ってください。
- ペースメーカーなど医療機器の装用者が Roger inspiro を使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。

⚠ 注意

- 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には置かないでください。
- 充電の際に Roger inspiro 本体や ACアダプターの温度が高くなることがあります。

ACアダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

- 充電の際には Roger inspiro 専用の AC アダプターを使用してください。
- 濡れた手で AC アダプターのコードやコンセントに触れないでください。感電の原因となります。
- 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所や取り扱いに注意してください。
- 風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態で、充電用端子に手や指など体の一部を触れさせないでください。感電、傷害、故障の原因となります。
- AC アダプターをコンセントに差し込むときは金属類を触れさせないよう注意し、確実に差し込んでください。誤った場合、感電、ショート、火災の原因となります。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った場合、火災、故障の原因となります。
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、Roger inspiro 本体、AC アダプターには触れないでください。落雷、感電の原因となります。
- 充電中は AC アダプターを安定した場所に置いてください。また AC アダプターを布などで覆ったり、包んだりしないでください。

⚠ 注意

- AC アダプターをコンセントから抜く場合はコードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。感電、火災、故障の原因となります。
- AC アダプターのコードの上に重いものを載せないでください。感電、火災の原因となります。

その他の注意事項

- お手入れの際は水や洗剤を使用しないでください。
- 専用の付属品を使用してください。
- Roger inspiro の修理はフォナック・ジャパンまたはフォナック・ジャパンの指定するサービスセンターでのみ可能です。
- お客様による Roger inspiro のバッテリー交換はできません。バッテリーを取り外さないでください。
- 日本国内で購入したRoger inspiroが海外の各国で使用可能かどうかは、事前にその国の関係省庁にお問い合わせください。また、海外で購入した Roger inspiro を国内で使用すると電波法違反となる恐れがあるのでご注意ください。

FM 電波を使うモード(Roger + FM)で使用する場合の注意事項

- ネットワークを組まずに同じ FM チャンネルの Roger inspiro を同じ室内で使用すると干渉ノイズが発生します。異なるチャンネルを使用するか、ネットワークを組んで使用してください。
- FM 電波は近くで使用している他の受信機でも受信される場合があります。
- この製品はテレビ電波に近い周波数を使用していますので、テレビ放送塔から 1km以内の地域で使用した場合に雑音が混入することがあります。
- この製品をテレビアンテナや受像機の近くで使用した場合に、テレビ画像に乱れが生じる場合があります。その様な場合には送信機をアンテナや受像機から離してください。

1. 本体および付属品

① Roger inspiro 本体

② ベルトクリップ

③ ネックストラップ

④ ミニピンプラグ･オーディオ･ケーブル

⑤ AC アダプター（本体、ケーブル一式）

⑥ トラベルケース

⑦ 取扱説明書（本書）

⑧ 保証書

①

②

③

④

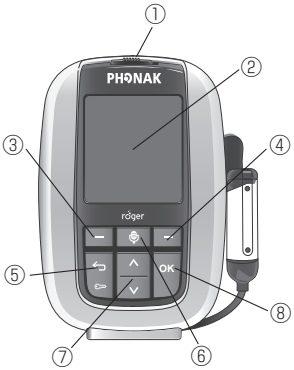
⑤

⑥

2. 本体各部の名称

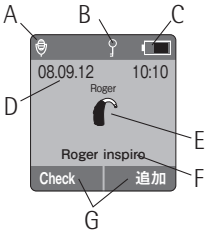
Roger inspiro 本体

表面



①電源オン／オフ スイッチ
②ディスプレイ画面
③左ソフトキー
④右ソフトキー
⑤キーロック／リターンキー
⑥マイクロホン ミュートキー
⑦アップ／ダウンキー
⑧OKキー

ディスプレイ



A. マイクロホンマーク
B. キーロックマーク
C. バッテリーマーク
D. 日付／時刻
E. モード表示
（Roger のみ／Roger + FM）
F. シリアル番号（または登録名）
G. ソフトキーの操作メニュー

底面

⑨外部入力用端子（3.5mm）
⑩充電用端子（ミニ USB）

裏面

⑪ボタン
⑫マイクコード収納部
⑬背面カバー
（ボタンを反時計回りに回しカバーを外すと、Roger inspiro のシリアル番号が確認できます）

外部マイクロホン

アイ・ラベル
iLapelマイクロホン（標準添付）
⑭指向性マイクロホン
⑮クリップ

イージー・ブーム
EasyBoomマイクロホン（オプション）
⑯指向性マイクロホン
⑰ネックバンド

3. Roger の基本スペック

使用可能時間：Roger inspiro の使用可能時間は約10時間です。
Roger と一緒に、FM 受信機、Roger デジマスター（線音源スピーカー）を使うと使用可能時間が最大2時間ほど短くなります。

充電池の寿命：充電池は消耗品です。充放電を繰り返すごとに使用可能時間が徐々に短くなります。
教育現場で使用する場合は2~3年が交換の目安です。

使用可能距離：Roger 送信機/Roger 受信機間
室内：最大約30m　　屋外：最大約20m

Roger 送信機/FM 受信機間
室内：最大約30m　　屋外：最大約30m

Roger 送信機/Roger 送信機/Roger デジマスター間
最大約20m

※高出力の電気製品が近くにある場合や金属に囲まれた部屋などでは使用可能距離が短くなる場合があります。室内で安定して使用することができる距離は約15mです。

※Roger inspiro から Roger 受信機へ発する電波は、屋外や体育館などの大きな部屋で使用する際、Roger inspiro を装着する人の体が電波を遮り、Roger inspiro からの音が途切れることがあります。
上記のような場所で Roger inspiro を使用する場合は、Roger inspiro が体の前面に来るように装着してください。

4. Roger の互換性について

Rogerシステム

Roger inspiro は Roger送信機の Roger Pen および Roger Clip-on mic と互換性がありません。Roger inspiro と Roger Pen、もしくは Roger inspiro と Roger Clip-on mic を同じグループに追加することはできません。

Roger と FM システム

Roger inspiro は Roger で使用する2.4GHz帯の電波と、FM システムで使用する169MHz帯の電波の両方を送ることができます。
Roger 受信機ユーザーと FM 受信機ユーザーが混在しても問題なくお使いいただけます。

Roger 受信機

Roger 受信機は、Roger 送信機からの電波のみ受信します。Roger 送信機が無いと使用できません。

FM 送信機との互換性

フォナック FM 送信機 inspiro、DynaMic、inspiro Premium、DynaMic Premium およびデジマスター（線音源スピーカー）は Roger のネットワークに参加することができません。

FM 送信機のRogerへのアップグレード

inspiro Premium、DynaMic Premium、およびデジマスター（線音源スピーカー）は専用のソフトウェアにより Roger へのアップグレードが可能です。

アップグレードをご希望の場合は、お求めになられた販売店までご相談ください。

5. Roger inspiro を使用する前の準備

5-1. 補聴器/人工内耳の準備

5-1-1. 補聴器/人工内耳を Roger が使える設定にする

補聴器

プログラムを設定できる補聴器の場合

ユニバーサルタイプ受信機／一体型受信機を一緒に使う場合

事前に補聴器にRoger（FM）を使えるプログラムを設定しておきます。

Tコイル利用タイプ受信機と一緒に使用する場合

事前にTコイルを使えるプログラムを設定しておきます。

プログラムを設定できない補聴器の場合

特に設定は不要です。

人工内耳

必要に応じて各社人工内耳メーカーの推奨設定に人工内耳プロセッサを設定します。

※設定はマッピングを行う病院にて行います。

5-1-2. 必要なアダプターを接続する

補聴器

ユニバーサルタイプ受信機を一緒に使う場合

ユニバーサルタイプ受信機を補聴器に接続するために各社補聴器専用のオーディオシューを補聴器に接続します。

必要なオーディオシューの型式に関して、また、オーディオシューの補聴器への接続に関しては、補聴器をお買い求めになられた販売店にてご確認ください。

人工内耳

ユニバーサルタイプ受信機を人工内耳プロセッサに接続するために各社人工内耳プロセッサ専用のアダプター（およびケーブル）を人工内耳プロセッサに接続します。

必要なアダプター（およびケーブル）の型式に関しては、マッピングを行う病院または各人工内耳メーカーにお問い合わせください。

5-2. Roger 受信機の準備

補聴器

ユニバーサルタイプ受信機の場合

受信機を補聴器に取り付けたオーディオシューに接続します。

ユーロピン（3ピン）は、太さが異なり、差し込む穴が決まっていますのでご注意ください。

一体型受信機の場合

補聴器をお買い求めになった販売店にて、補聴器の純正の電池ホルダーと受信機を付け替えてもらいます。

人工内耳

ユニバーサルタイプ受信機の場合

受信機を人工内耳プロセッサに取り付けたアダプターに接続します。

一体型受信機の場合

受信機を人工内耳プロセッサに取り付けます。

Tコイル利用タイプ受信機と一緒に使用する場合

Tコイル利用タイプ受信機は充電式です。ご使用になる前に充電を行ってください。

充電の方法や受信機の使い方に関しては、受信機の取扱説明書を参照ください。

5-3. Roger inspiro の準備

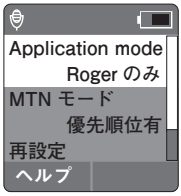
5-3-1. Roger inspiro のモードを選択する

Roger inspiro は、Roger 受信機のみに音を送信する “Roger のみ” のモードと、Roger 受信機と FM 受信機の両方に音を送信する “Roger + FM” のモードの何れかを選択できます。

FM 受信機を使う方がいない場合は、消費電力を抑えるため、また、不要な FM を電波を飛ばして他の部屋の FM システムとの干渉を防ぐため、モードは “Roger のみ” を選択してください。

Roger inspiro のモードを選択する（初めて Roger inspiro を使う場合） Roger inspiro の電源をオンにすると、モードを選択する画面が表示されます。希望のモードを選択してください。
選択すると Roger inspiro は自動的に再起動し設定が完了します。

モードはメニュー画面からいつでも変更が可能です。
Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択します。
モードを選択、続いて Application mode を選択します。
任意のモードを選択し OK キーを押すと、Roger inspiro は自動的に再起動し設定が完了します。



5-3-2. Roger inspiro を充電する

Roger inspiro はリチウムポリマー2次電池を内蔵しています。
フル充電にかかる時間は約2時間です。

フル充電	約 2 時間
80%充電	約 1 時間

充電中は Roger inspiro のディスプレイに充電中と表示されます。
過充電防止機能が付いていますので一昼夜充電いただいても大丈夫です。

バッテリー残量はディスプレイのバッテリーマークで確認できます。

フル充電の状態です。 充電がない状態です。

詳細時間の確認方法

メニュー画面から各種設定を選択し OK を押します。バッテリーを選択し OK を押します。使用可能時間が確認できます。

Roger inspiro にはバイブレータが内蔵されており、バッテリー残量が無くなる約1時間前にバイブレータが振動します。

バッテリー残量が完全に無くなる約1分前に、バッテリーマークが赤色に変わります。
※ 充電は Roger inspiro 専用の ACアダプターをご利用ください。

5-3-3. Roger inspiro の iLapel マイクを EasyBoom マイク(オプション)に変更する

iLapel マイクのコードをほどきます。
Roger inspiro 本体裏面のボタンを反時計回りに回し、背面カバーを外します。
マイク接続部下にストッパーがあります。先の細いペンなどでストッパーを押し込みながらマイクプラグの溝に爪を差込み、ゆっくりと引き抜きます。コード部分を引っ張りすぎると断線の原因となりますので注意してください。
マイクの差し込む方向を合わせながら、しっかりと差し込んでください。
※外部マイクロホン交換の詳細については52ページ補足2を参照してください。

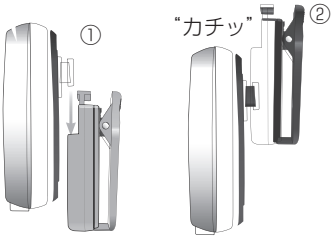
6. Roger inspiro を装着する

6-1. Roger inspiro本体を装着する

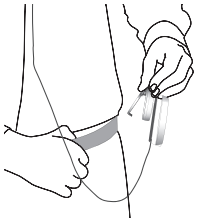
Roger inspiro は、ベルト装着と首かけの2つの装着スタイルが選べます。付属のベルトクリップ、ネックストラップを使用してください。

ベルトクリップによる装着

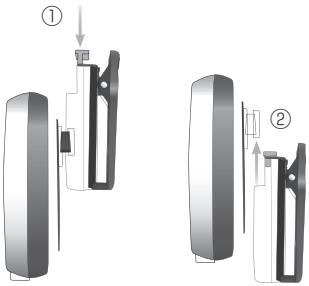
Roger inspiro 裏面のボタンと付属のベルトクリップを合わせます（①）。
Roger inspiro を下にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかりとクリップに取り付けます（②）。



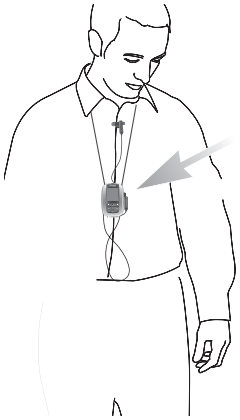
ベルトもしくはズボンの端にベルトクリップを挟んで装着してください。



Roger inspiro からベルトクリップを取り外す場合は、①の部分を押し、Roger inspiro を上にスライドさせ（②）、丁寧に取り外してください。



ネックストラップによる装着



Roger inspiro 裏面のボタンと付属のネックストラップを合わせます。ネックストラップを上にスライドさせ、カチッと音がするまでしっかりと取り付けます。　ネックストラップの長さを適宜調節します。その際、マイクロホンのコードが巻き込まれないよう注意してください。

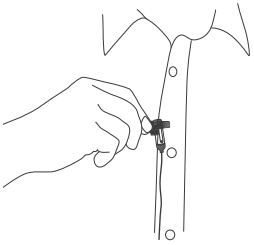
6-2. iLapel マイクを装着する

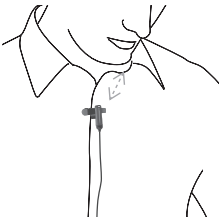
iLapel マイクのコードはアンテナを兼ねているため、Roger inspiro 本体からコードを全てほどき、伸ばした状態で使用します。無理に引っ張ったり曲げたりせず、注意深く取り扱ってください。

※ iLapel マイクはピンマイク型の指向性マイクロホンです。

Roger inspiro 本体から iLapel マイクのコードを全てほどきます。

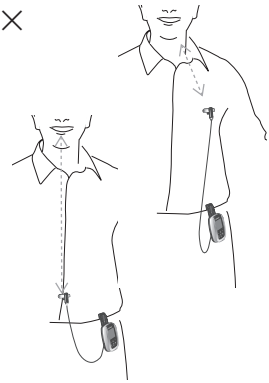
口元から15～20cmの位置にくるようクリップを服に挟んでください。iLapel マイクが縦を向くように取り付けます。





正しい装着例

口元との距離が15～20cm。マイクロホンが縦方向に並んでいる



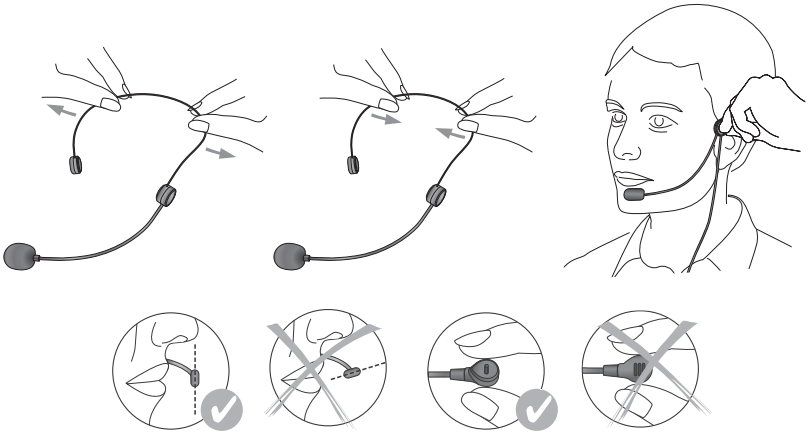
誤った装着例

口元との距離が離れすぎている

iLapel マイクには二つの穴があり、この部分がマイクロホンになっています。
マイクロホン部分を手で覆ってしまうと、音がマイクロホンに入力されません。
また、マイクロホン本体がシャツ等の衣服に触れると不快な衣擦れ音が発生しますので注意してください。

6-3. EasyBoom マイク(オプション)を装着する

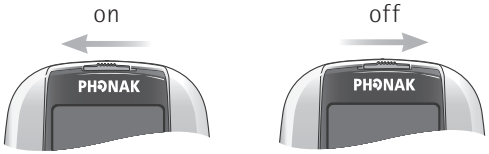
EasyBoom マイクはネックバンドタイプの指向性マイクロホンです。
顔の向きに関係なく口元との距離を一定に保つことができます。
ネックバンドの幅を調節します。
ネックバンドが頭の後ろ側に来るように、両耳に掛けて装着します。
EasyBoom マイクのマイクロホンが口元から2~5㎝になるよう調整します。
マイクロホンの音口が横や後ろを向かないよう調整します。
EasyBoom マイクのコードはクリップで衣服に留めてください。
※EasyBoom マイクのマイクロホン部分は無理に折り曲げたり必要以上にねじったりしないでください。断線の原因となります。



7. Roger inspiro の基本的な使い方

7-1. “Roger のみ”で使用の場合

1. Roger inspiro の電源をオンにする
電源スイッチを左にスライドさせると緑のマークが見えます。
ディスプレイが点灯します。



※一定時間が経過するとディスプレイが消灯しバッテリーを節約します。
何れかのキーを押せば、ディスプレイが再点灯します。

2. メニュー画面へのアクセス方法
キーパッドの (▲▼)アップダウンキーを押すか、 OK (OK)キーを押します。
リターンキー (↩)を押すと1つ前の画面に戻ります。
ディスプレイの下にある 左右のソフトキー (−)は、ソフトキーの上に表示される
ソフトキーのメニューに対応しています。(表示する画面により、ソフトキーの表示も
変わります)

3. Roger 受信機をネットワークに追加する
Roger 受信機が補聴器に接続され、必要に応じて
補聴器が Roger を使えるプログラムに変更されて
いることを確認します。
Roger 受信機から10㎝以内の距離で、Roger
inspiro の右ソフトキーに表示される追加キーを押
します。

Roger 受信機がネットワークに追加されると、補聴器からビープ音が聞こえます。
受信機は1台ずつネットワークに追加します。（両耳装用の場合は左右1台ずつ追加してください。）
※ネットワークへの追加は一回のみです。ネットワークに追加した受信機は、電源を入り切りしてもネットワークに参加し続けます。

4. マイクロホンに向かって話す
マイクロホンに向かって話しかけます。
その際、補聴器や人工内耳本体のマイクではなく、Roger inspiro からの音が聞こえているか確認するために、Roger inspiro のマイクロホンを軽く指でこすり、擦った音がRoger 受信機装用者に聞こえているかを確認します。

5. 2台目以降のマイクロホンをネットワークに追加する場合
2台目以降のマイクロホンの電源をオンにして、Roger inspiro の側10cm以内に近づけます。
右ソフトキーに表示される追加キーを押すと2台目以降のマイクロホンがネットワークに追加されます。

7-2. “Roger + FM”で使用する場合

1. Roger inspiro の電源をオンにする

2. 必要に応じて FM 受信機のチャンネルを同期する
FM 受信機が補聴器に接続され、必要に応じて補聴器が FM を使えるプログラムに変更されていることを確認します。
FM 受信機から10㎝以内の距離で、Roger inspiro の右ソフトキーに表示される追加キーを押します。
FM 受信機のチャンネルが同期されると、補聴器からビープ音が聞こえます。
※FM 受信機に設定されているデフォルト・チャンネルが、Roger inspiro に表示されているチャンネルと同じ場合は同期は不要です。

3. マイクロホンに向かって話す。

4. マイクロホンに向かって話す
   マイクロホンに向かって話しかけます。
   その際、補聴器や人工内耳本体のマイクではなく、Roger inspiro からの音が聞こえているか確認するために、Roger inspiro のマイクロホンを軽く指でこすり、擦った音が Roger 受信機装用者に聞こえているかを確認します。

5. FM チャンネルの変更方法
   送信機のチャンネル変更
   Roger inspiro のメニュー画面から FM を選択します。
   チャンネル変更を選択します。
   希望のチャンネルを選び OK を押します。
   リターンキーを押し、メインメニューに戻ると、選択したチャンネルが表示されています。

   受信機のチャンネル同期
   FM 受信機から10㎝以内の距離で、Roger inspiro の右ソフトキーに表示される追加キーを押します。
   FM 受信機のチャンネルが同期されると、補聴器からビープ音が聞こえます。

6. 2台目以降のマイクロホンをネットワークに追加する場合
   2台目以降のマイクロホンの電源をオンにして、Roger inspiroの側10㎝以内に近づけます。
   右ソフトキーに表示される追加キーを押すと2台目以降のマイクロホンがネットワークに追加されます。

8. Roger inspiro の便利な機能を使いこなす

8-1. ミュート（マイクロホンの消音）

Roger inspiro を使用中、聞き手に音声を聞かせたくない時はマイクロホンをミュートにしてください。ミュートにするとマイクロホンのみを一時的にオフにすることができます。
マイクロホン ミュートキーを押すことでミュートのオン／オフの切り換えができます。
ミュート中は Roger inspiro のディスプレイにマイクに斜線が入ったマークが表示されます。
ミュート状態にしたまま15分経過すると Roger inspiro のバイブレータが振動してお知らせします。引き続きミュートを継続する場合は、一旦ミュートを解除し、再度ミュートに設定してください。

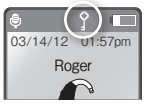
マイクロホンマーク

	マイクロホン ミュート　オフ （マイクロホンが話し手の声を拾う状態）
	マイクロホン ミュート　オン （マイクロホンが話し手の声を拾わない状態）

8-2. キーロック（誤操作防止）

Roger inspiro にはキーを押しても反応しない状態にする誤操作防止（キーロック）機能があります。

キーロックをオンにする
キーロック／リターンキーを押すと Roger inspiro のディスプレイ上にメッセージが表示されます。
OK キーを押してください。ディスプレイの上段にキーロックマークが表示されます。
※キーロックをオンに設定した状態でも、Roger inspiro 本体の電源オン／オフスイッチは操作できます。



キーロックを解除する

再びキーロック／リターンキーを押すと Roger inspiro のディスプレイ上にメッセージが表示されます。

メッセージに従い OK キーを押してください。ディスプレイの上段のキーロックマークが消え、キーロックが解除されます。

8-3. JoinNet（ジョインネット）

もう1台の Roger inspiro をネットワークに参加させるときに、Roger inspiro 以外のネットワークに参加している機器から ID をコピーする機能

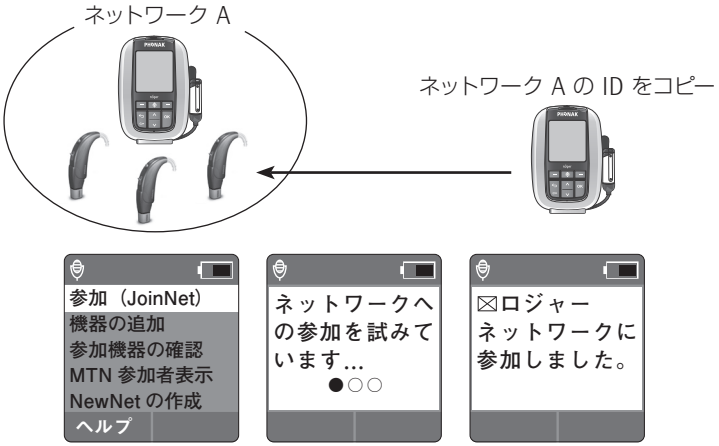
例）既に始まっている授業中に、Roger inspiro を使用している先生を煩わせることなく、近くの生徒の受信機から ID をコピーしネットワークに子機のワイヤレスマイクとして参加できます。

既存のネットワークへの参加方法

Roger inspiro のメニュー画面からネットワークを選択します。

既にネットワークに参加している何れかの Roger 機器の10cm以内で、参加（JoinNet）を選択します。

ネットワークの ID がコピーされ、既存のネットワークに参加します。



8-4. SubNet（サブネット）

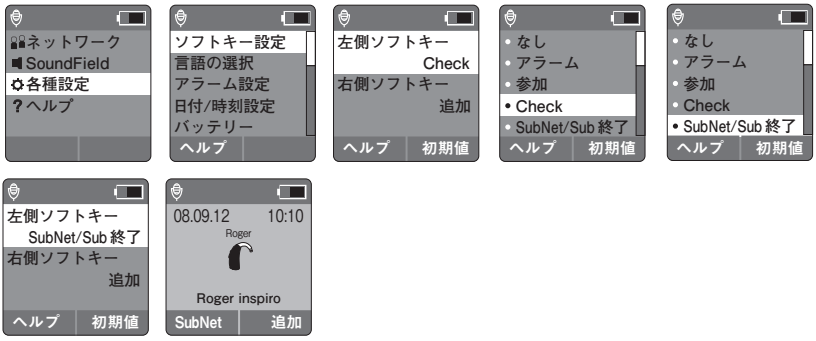
ネットワークに参加している子機のRoger inspiro と、特定の受信機との間に一時的なネットワークを組む機能

例）子機のワイヤレスマイクとして参加している先生が、特定の生徒にだけ話しかけたい時にその生徒との間だけに一時的なネットワークを組み話しかけることができます。

SubNet の事前準備

SubNet を利用するためには、子機となる Roger inspiro の左ソフトキーにあらかじめ SubNet キーを設定しておく必要があります。

1. メニュー画面から詳細設定を選択します。
2. ソフトキー設定を選択します。
3. 左ソフトキーを選択します。
4. 表示される機能のリストから、SubNet/Sub 終了を選択し、OK ボタン押します。
5. リターンキーを押し、メインメニューに戻ると、左ソフトキーが SubNet に設定されています。



SubNet を使って一時的なネットワークを組む

子機として参加している Roger inspiro の左ソフトキー（SubNet）を押すと、Roger inspiro が一時的なネットワークを構築します。

一時的なネットワークを組みたい Roger 受信機の10cm以内に Roger inspiro を近づけ追加を押します。

Roger 受信機が一時的なネットワークに参加します。

SubNet の状態では、元のネットワークに参加しているマイクからの音は聞こえなくなり、SubNet で一時的なネットワークを組んでいる子機の Roger inspiro からの音のみが届きます。

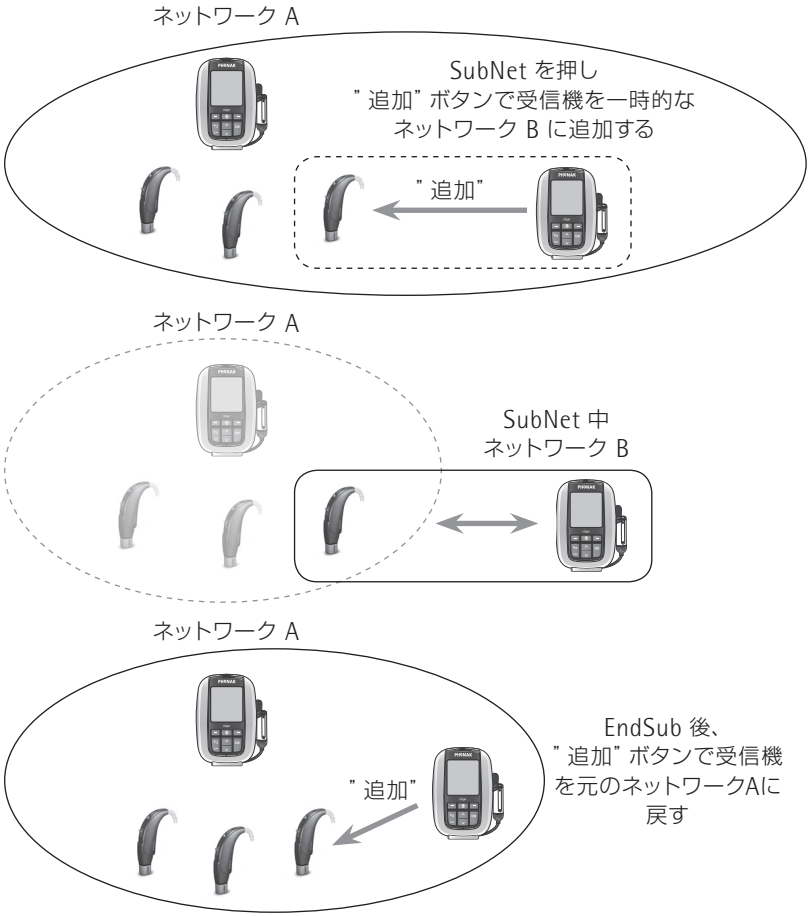
SubNet を終了し、元のネットワークに戻る

SubNet 利用中の Roger inspiro の左ソフトキー（EndSub）を押すと、Roger inspiro が一時的に構築していたネットワークを終了し、元のネットワークに戻ります。

Roger 受信機の10cm以内に Roger inspiro を近づけ追加を押します。

Roger 受信機が元のネットワークに戻ります。

例）イメージ



8-5. NewNet（ニューネット）
新たなネットワーク ID を作成する機能

現在使用しているネットワークの ID を破棄し、新しいネットワーク用の ID を作成します。

新しいネットワークの作成方法
Roger inspiro のメニュー画面よりネットワークを選択します。
NewNet の作成を選択します。
※新しいネットワークを作成すると今まで使っていたネットワーク ID は削除されます。
再び同じ ID を使うことはできません。

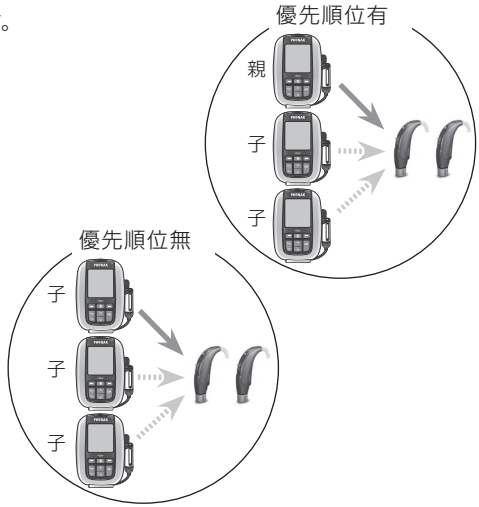
8-6. マイクロホンを複数台使用するときの親機、子機の優先順位を変更する

Roger では複数のマイクロホンを同じネットワークに追加することが出来ます（MTN：マルチ・トーカー・ネットワーク、最大35台までのマイクロホンのネットワークへの参加が可能）。
ネットワークに追加されたマイクロホンは、1台ずつしか音が飛ばないように設計されています。（難聴の方は、同時に話をされると言葉の理解が難しい為）
その際、音を飛ばす優先順位の有り、無しを選択できます。

優先順位の設定方法
メニュー画面から各種設定を選択します。
モードを選択します。
MTN モードを選択します。
優先順位有／優先順位無を選択します。

優先順位有
Roger inspiro によって追加された2台目以降のマイクロホン（Roger inspiro, Roger DynaMic）は、子機としてネットワークに参加します。
親機からの声が受信機に届いている間は、子機からの声は受信機に届きません。

優先順位無
優先順位無では、全てのマイクロホン



が子機としてネットワークに参加します。優先順位が無くなり、全てのマイクロホンが早いもの順で声を受信機に届けることが出来ます。

8-7. Roger inspiro の機器情報を確認する

以下の項目を確認できます。

- シリアル番号
- ソフトのバージョン
- ハードのバージョン
- DSP のバージョン
- メニュー設定（フル／簡易）

手順

Roger inspiro のメニュー画面からヘルプを選択し OK キーを押します。
機器情報を選択し OK キーを押します。

8-8. Check
ネットワークに参加している機器の情報を読み取る機能

ネットワークに参加している機器の情報を確認することが出来ます。

確認できるデータ

Roger 送受信機の場合

- 製品名
- シリアル番号
- ネットワークへの参加状況
- ファームウェアのバージョン
- ハードウェアのバージョン
- 接続環境
- Roger DynaMic の充電池の残量（Roger DynaMic のみ）

ダイナミック FM 受信機の場合

- 補聴器のバッテリー残量
- シュー接続状態
- 補聴器のプログラム状態
- 同期状況

手順

1. 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。
2. 必要に応じて補聴器を FM 用プロラムに切り替えます。
4. Roger inspiro を確認したい機器の10cm以内に近付けます。
5. 左シフトキー（Check）を押します。
   Roger inspiro が Check を開始します。
   Check が終了するまで Roger inspiro を確認したい機器に近付けたままにしてください。
6. Check が終了すると Roger inspiro のディスプレイ上に検出された機器の製品名（または登録名）が表示されます。

8-9. 管理
受信機の各種設定を変更する機能

Roger inspiro を使って Roger 受信機の各種設定を変更することが出来ます。
Roger inspiro の Check による受信機情報の確認画面で、右ソフトキーに管理が表示されます。
この右ソフトキー（管理）を選択すると下記の設定が調整できます。

Roger 受信機の場合

	表示	設定名称
1	自動音量調整	Roger 音量を調節します
2	初期設定	初期状態にリセットします
3	CI モジュール	人工内耳用の設定を行います

ダイナミック FM 受信機の場合

	表示	設定名称
4	Ch 検出	先に使われているチャンネルを検出します
5	受信機確認	受信機に登録されている情報を確認します
6	Ch 情報	チャンネル情報を確認します
7	Channel 変更	チャンネルを変更します
8	FM 音量微調整	FM 音量を微調整します
9	ビープ音設定	ビープ音の設定をします
10	ボタン無効	MLxi のプッシュボタンの設定します

Roger 受信機の設定

1. 自動音量調整
   Roger には自動音量調整機能（室内の騒音レベルが57dB以上の騒音下で Roger マイクからの音の比率を大きくする機能）がありますが、室内の騒音レベルが56dB未満の状態で Roger マイクから聞こえる音量を±8dB（2dBステップ）で微調整できます。

2. 初期設定
   Roger 受信機を初期設定の状態にリセットします。

3. CI モジュール
   全ての受信機は出荷時に適切な設定が登録されています。
   Roger Xを補聴器から人工内耳、または人工内耳から別の人工内耳で使用する際には、Roger inspiro を使って、Roger X の内部設定の変更が必要な場合があります。
   詳しくは設定表（次ページ）をご覧ください。

人工内耳と Roger X の設定表

	メーカー / 機種名
自動モード	補聴器 設定1〜9に記載の機種以外の人工内耳
設定1	アドバンスト・バイオニクス社 • ハーモニーサウンドプロセッサ • オーリアサウンドプロセッサ コクレア社 • 携帯型フリーダム
設定2	メドエル社 • OPUS スタンダード型
設定5	各社 • フォナック製MicroLink CI Sアダプタを使用する人工内耳全て
設定6	コクレア社 • ESPrit 3G
設定9	コクレア社 • Nucleus 5 サウンドプロセッサ (CP810) • Nucleus 6 サウンドプロセッサ (CP910)

ダイナミック FM 受信機の設定

4. Ch 検出

講演会場など、既にその部屋で FM 送信機が使用されている場合、講演者の使用チャンネルが分からなくても、手持ちの Roger inspiro が使用されているチャンネルを検出し、自動で受信機を同期することができます。

Roger inspiro が別の送信機で使用しているチャンネルを検出し、そのチャンネルに受信機を自動で同期させます。聞きたい送信機からの音声が聞こえない場合は再度チャンネル検出を行ってください。

5. 受信機確認

受信機本体に登録されているデータの読み込みをします。本機能で確認できる項目は以下の通りです。

- 登録名称
- 受信機のデフォルト・チャンネル
- 使用中のチャンネル番号
- 受信機をプログラミングした日付
- シリアル番号

受信機確認が終了すると受信機（補聴器）からビープ音が聞こえ、Roger inspiro のディスプレイ上に検出された情報が表示されます。

6. Ch 情報

送受信機のチャンネル情報を読み出します。

手順

1. Roger inspiro と確認したい機器の10㎝以内に近づけます。
2. Ch 情報を選択し、OK を押します。
3. 機器が検出されたら OK を押します。

本機能で確認できる項目は以下の通りです。

- 受信機のチャンネル
- チャンネル情報（デフォルトチャンネル/最後の使用したチャンネル）
- Roger inspiro のチャンネル
- 同期状況

7. Channel 変更

Roger inspiro で使用する FM チャンネルを変更します。

チャンネル変更後は、追加ボタンを押して FM 受信機のチャンネルも同期してください。

8. FM 音量微調整

FM 音量を1人ひとりの聞こえに応じて微調整することができます。

手順

1. 話し手は普段通り Roger inspiro と外部マイクロホンを装着してください。
2. 聞き手は ダイナミック FM 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
3. Roger inspiro を ダイナミック FM 受信機に近付けます。
4. ダイナミック FM 受信機の側10㎝以内で Check を押し、受信機の情報を読み込んだ後、管理を選択し、OK を押します。
5. ダイナミック FM 受信機の側10㎝以内で FM 音量微調整を選択します。
6. ダイナミック FM 受信機の製品名（または登録名）が表示されたら OK または右ソフトキー（設定）を押します。
7. 微調整の際の注意事項が表示されます。OK または右ソフトキー（調整）を押し

ます。

8. 音量画面が表示されます。（初期設定は0dBです）
9. 普段通りの声の大きさで話しかけながら、聞き手の反応を見て、アップ／ダウンキーで FM 音量を調整します。2dBずつ±8dBまでの調節が可能です。聞こえやすい段階のときにソフトキーを押します。Roger inspiro からの信号が ダイナミック FM受信機に届くと受信機（補聴器）からビープ音が聞こえます。

9. ビープ音設定

ダイナミック FM 受信機（補聴器）から聞こえるビープ音の有効／無効を設定します。ビープ音は追加、同期、Check など Roger inspiro からの信号が ダイナミック FM 受信機まで届いたときに聞こえます。無効に設定するとビープ音が聞こえなくなります。

手順

1. ダイナミック FM 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. Roger inspiro を ダイナミック FM 受信機の10㎝以内に近付け、Check、管理後のメニュー画面からビープ音設定を選択します。受信機の検出がはじまります。
3. Roger inspiro のディスプレイ上に受信機の製品名（または登録名）が表示されます。
4. OK を押します。
5. ビープ音を有効にしたい場合は右ソフトキー（有効）、無効にしたい場合は左ソフトキー（無効）を押してください。
   Roger inspiro から信号が受信機に送信されます。

10. ボタン無効（FM受信機 MLxi のプッシュボタンの設定）

ダイナミック FM 受信機 MLxi にはプッシュボタンがついています。
出荷時にはプッシュボタンを無効に設定しています（プッシュボタンを押しても反応がない状態）。
プッシュボタンを有効にすることにより、以下の2つが可能となります。

- MLxi の電源のオン･オフ（プッシュボタンの長押し）
- 補聴器のプログラム FM + M または FM の切り替え（使用する補聴器によってはこの機能は使えません）

手順

1. MLxi が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて FM 用プログラムに切り替えます。
2. Roger inspiro を MLxi に近付けます。
3. Check、管理後のメニュー画面からボタン無効を選択します。
   有効に受信機の検出がはじまります。
4. プッシュボタンを有効にするには→ソフトキー（有効）を押します。
   無効にする場合は左ソフトキー（ロック）を押します。

※プッシュボタン無効のメリット
MLxi のプッシュボタンが有効の場合、補聴器の電源をオンにした後、プッシュボタンを長押ししないと MLxi がオンになりません。プッシュボタンが無効の場合、補聴器の電源をオンにするだけで MLxi が自動的にオンとなるため操作が簡単です。また無効にすることより誤操作を防ぐことができます。特に小さなお子様はプッシュボタンを無効の状態のままにしてください。

8-10. ネットワークに参加している機器を表示する

ネットワークに参加している Roger 機器を表示することが出来ます。
※Roger 機器の電源が入っていないと確認出来ません。

ネットワークに参加している Roger マイクを表示する
Roger inspiro のメニュー画面からネットワークを選択します。
MTN参加者表示を選択します。

ネットワークに参加している Roger デジマスターを表示する
Roger inspiro のメニュー画面から SoundField を選択します。
DigiMaster の表示を選択します。

※Roger 受信機を表示させることはできません。

8-11. ネットワークに参加している機器の使用時間を確認する

Roger inspiro の合計使用時間を確認

Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択します。

データログを選択します。

その他の Roger 機器の合計使用時間を確認する

確認したい Roger 機器の電源がオンになっていることを確認します。

Roger inspiro の左ソフトキー（Check）を選択します。

データが読み込まれ、ダウンキーでスクロールさせて合計使用時間を確認することが出来ます。

※合計使用時間は、初めて使用を開始したとき、もしくは最後に機器の調整を行った時からの合計時間です。

8-12. 近くで使われていない FM チャンネルを確認する

Roger inspiro と ダイナミック FM 受信機が交信し、干渉の少ない条件の良いチャンネルを検索します。複数の教室で FM システムを使用している際、チャンネル管理に活用してください。

手順

1. ダイナミック FM 受信機が接続された補聴器の電源をオンにします。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えます。
2. Roger inspiro を ダイナミック FM 受信機に近付けます。
3. メニューから FM を選択します。
4. チャンネル検索を選択し OK を押します。
5. Roger inspiro が ダイナミック FM 受信機と交信し、条件の良いチャンネルを検索します。
6. Roger inspiro のディスプレイ上に条件の良いチャンネルが順次表示されます。
7. 希望のチャンネルで OK を押してくださいい。
8. Roger inspiro の FM のチャンネルが変更されました。
9. ダイナミック FM 受信機の側10㎝以内に Roger inspiro を近づけ、追加ボタンを押してダイナミック FM 受信機を同期してください。

9. その他の設定

9-1. メニュータイプを変更する

Roger inspiro には、全ての機能を操作できるフルメニューと、機能を制限し簡単にお使いになれる簡易メニューの2種類を選択することが可能です。

簡易メニューで利用できる機能は以下の通りです。

- 追加
- チャンネル変更
- SoundField（音量調整、外部入力調整、デジマスターの表示）
- NewNet の作成

手順

1. Roger inspiro の電源を入れます。
2. Roger inspiro の画面左端上にマイクロホンマークが表示されたら、左ソフトキーとOK ボタンの両方を同時に押し、その後すぐにもう一度 OK ボタンを押します。
3. メニュー設定が表示されたら OK ボタンを押します。
4. アップ／ダウンキーで簡易、フルの何れかを選択し OK ボタンを押します。

9-2. Roger inspiro のソフトキーをカスタマイズする

Roger inspiro の左右のソフトキーは、お好みに合わせて変更することが出来ます。

手順

1. メニュー画面から詳細設定を選択します。
2. ソフトキー設定を選択します。
3. 左ソフトキー、または右ソフトキーを選択します。
4. 示される機能のリストから、ソフトキーに割り当てたい機能を選択し、OK ボタン押します。
5. リターンキーを押し、メインメニューに戻ると、選択した機能がソフトキーに設定されています。

※ソフトキーを初期状態に戻したい時は、初期設定、ソフトキー設定を選択後、右ソフトキーに表示されている初期値を押してください。

9-3. アラームの設定

Roger inspiro は携帯電話のようにアラーム時刻を設定できます。設定した時間にバイブレータが振動してお知らせします。

手順

1. Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択し OK キーを押します。
2. アラーム設定を選択し OK キーを押します。
3. アラームの設定を選択し OK キーを押します。
4. オンを選択し OK キーを押します。
5. アラーム時刻を選択し OK キーを押します。
6. 時刻1桁毎にアップ／ダウンキーで時刻を選択し、右ソフトキー（保存）を押します。
7. アラーム設定が完了するとディスプレイ上段にベルマークが表示されます。

アラーム時刻になるとバイブレータが振動し、ディスプレイ上にメッセージが表示されます。

9-4. 時刻の設定

Roger inspiro は日付と時刻を設定することができます。

手順

1. Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択し OK キーを押します。
2. 日付/時刻設定を選択し OK キーを押します。
3. 日付を選択し OK キーを押します。
4. アップ／ダウンキーで日付を入力します。
5. 日付表示を選択します。
6. アップ／ダウンキーで “日/月/年” もしくは “月/日/年” を選択し OK キーを押します。
7. 時刻を選択し OK キーを押します。アップ／ダウンキーで時刻を入力します。
8. 時刻表示を選択します。アップ／ダウンキーで “ 12時間表示” もしくは “24時間表示” を選択します。

9-5. ディスプレイの設定

Roger inspiro のディスプレイの明るさ、消灯時間（バックライト）、画面オフ設定、背景画面を設定することができます。消灯時間、画面オフを設定することにより、バッテリーを節約できます。

手順

Roger inspiro の操作メニューから各種設定を選択し OK キーを押します。
ディスプレイを選択し OK キーを押します。

明るさの変更

明るさを選択し OK キーを押します。
アップ／ダウンキーでお好みの明るさ（100/50/10）を選択し、右ソフトキー（保存）または OK キーを押します。

消灯時間の変更

消灯時間を選択し OK キーを押します。
アップ／ダウンキーで希望の時間（5/10/15/20/30/45/60秒後）を選択し OK キーを押します。
画面オフ設定" を選択し OK キーを押します。
アップ／ダウンキーで希望の時間（20/30/40/60/120秒後）を選択し OK キーを押します。

背景画面の変更

Roger inspiro の操作メニューから各種設定を選択し OK キーを押します。
背景画面設定を選択し OK キーを押します。
アップ／ダウンキーで希望の背景画面（8種類）選択し、右ソフトキー（保存）または OK キーを押します。

9-6. 言語の設定

手順

1. Roger inspiro の操作メニューから各種設定を選択し OK キーを押します。
2. 言語の選択を選択し OK キーを押します。
3. アップ／ダウンキーで希望の言語選択し、OK キーを押します。

10. Roger デジマスター(線音源スピーカー)を利用する

Roger inspiro は、フォナック DSF システムの線音源スピーカー Roger デジマスター用のワイヤレスマイクロホンとしても使用できます。
Roger inspiro は、Roger のみ／ Roger + FM の何れのモードでも構いません。

10-1. Roger デジマスターをネットワークに追加する

手順

1. Roger デジマスターの電源がオンになっていることを確認します。
2. Roger デジマスターから50㎝以内の距離で、Roger inspiro の右ソフトキーに表示される追加キーを押します。
   Roger デジマスターは1台ずつネットワークに追加します。(Roger デジマスター7000 をご利用の場合は1台ずつ追加してください。)

※ネットワークへの追加は一回のみです。ネットワークに追加した Roger デジマスターは、電源を入り切りしてもネットワークに参加し続けます。

※Roger inspiro と一緒に使用できる線音源スピーカーは Roger デジマスターのみです。デジマスターを Roger inspiro と使用する場合は、デジマスターを Roger デジマスターにアップグレードする必要があります。アップグレードに関しては、デジマスターをお求めになられた販売店にご相談ください。

10-2. Roger inspiro から Roger デジマスター(線音源スピーカー)の音量を調節する

手順

1. Roger inspiro のメニュー画面から SoundField を選択します。
2. 音量調整を選択します。
3. アップ/ダウンキーを使って Roger デジマスターの音量をお好みの音量に調整します。

10-3. Roger inspiro から Roger デジマスター(線音源スピーカー)の外部入力端子に入力された音量を調節する

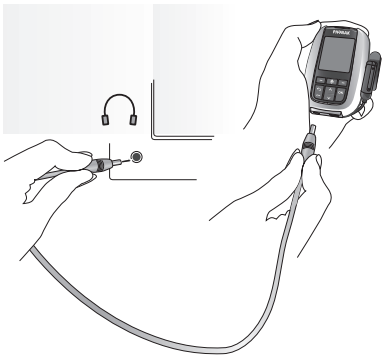
手順

1. Roger inspiro のメニュー画面から SoundField を選択します。
2. 外部入力調整を選択します。
3. アップ/ダウンキーを使って Roger デジマスターの音量をお好みの音量に調整します。

11. Roger inspiro の外部入力端子に外部音響機器を接続する

Roger inspiro はテレビ、CD/MD プレーヤー、MP3プレーヤー、パソコンなどの音響機器と接続して外部音響機器からの音を受信機に届けることができます。

付属のミニピンプラグ･オーディオ･ケーブルのプラグを外部音響機器の音声出力（ヘッドホン）端子、もう一方のプラグを Roger inspiro 底面にある外部入力端子（3.5mm）に接続します。ディスプレイの上段にオーディオマークが表示されます。



マイクロホンのコードはアンテナを兼ねているため、外部入力機器を接続したときもマイクロホンのコードは常に伸ばした状態で使用してください。

Roger inspiro にて外部入力の以下の設定が可能です。

- 音響機器
- マイクの設定（外部入力利用時の外部マイクのミュート設定）

手順

音響機器

1. Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択します。
2. 外部入力設定を選択します。
3. 音量が足りない場合は、音響機器を選択し “大きすぎ” を選択してください。

マイク設定

音量が十分な場合は一般的な機器を選択します。

1. 外部音響機器からの音と一緒に Roger inspiro の外部マイクからの音も届けたい場合は、マイクの設定を選択し、有効を選択してください。
2. Roger inspiro の外部マイクを使用しない場合は、ミュートを選択します。

※ミュートはマイクロホン ミュートキーでいつでも解除できます。

※Roger inspiro をテレビのイヤホン端子に接続すると、テレビの機種によってはテレビのスピーカーから音声が出なくなります。テレビやビデオなどの外部出力端子を利用する場合はオーディオプラグ変換ケーブル（別売）を使用してください。

12. 検証モード

検証モードは、Roger の特性を計測するときに指向性などの機能を解除し、検証を行うためのモードに切り替える設定です。

手順

1. Roger inspiro のメニュー画面から各種設定を選択し OK キーを押します。
2. 検証を選択します。
3. 有効を選択します。
4. 右ソフトキー（はい）を押します。
5. 右ソフトキー（OK）を押します。

自動的に再起動され、検証モードになります。検証モード中は Roger inspiro の画面が黄色くなり検証モード Roger POP 使用の文字が点滅します。

検証モードを解除するには同じ手順を行ってください。

13. ヘルプ

Roger inspiro のヘルプメニューがまとめられています。

- ヘルプ索引
  各機能の説明を表示します。

- サポート
  使用しません。

- 機器情報
  Roger inspiro 本体の機器情報を表示します。

14. トラブルシューティング

状況）Roger inspiro の電源が入らない。
原因）Roger inspiro のバッテリーが切れている可能性があります。Roger inspiro を充電してください。フル充電には約2時間かかります。

状況）話し声がはっきりと聞こえない。
原因 1）マイクロホンの取り付け位置が適切ではない可能性があります。マイクロホンを話し手の口元に近付けてください（15〜20cm）。iLapel の場合、マイクロホンが縦に向くよう取り付け、マイクロホンの穴を手で覆わないようにしてください。
原因 2）Roger inspiro と受信機が離れすぎている可能性があります。聞き手との距離を変えながら話してみてください。
原因 3）Roger inspiro の外部マイクロホン（iLapel、EasyBoom）が本体にしっかりと差し込まれていない可能性があります。本体裏面のカバーを取り外し、マイクロホンの接続状態を確認してください。
原因 4）聞き手の聞こえによって Roger または FM の音量が小さい可能性があります。自動音量調整機能のデフォルト設定を変更し、好みに合わせて音量を調整してみてください。

状況）Roger inspiro の電源がオンになっているのに音声が聞こえない。
原因 1）Roger inspiro のマイクロホンがミュートになっている可能性があります。ミュートになっている場合、解除してください。
原因 2）受信機が補聴器にしっかりと接続されていない可能性があります。しっかりと接続されていることを確認してください。
原因 3）補聴器が Roger が使えるプログラム（FM + M または MT）に切り替わっていない可能性があります。Roger が使えるプログラム（FM + M または MT）に切り替えてください。
原因 4）Roger inspiro と Roger 受信機が同じネットワークに参加していない可能性があります。また Roger inspiro の使用している FM のチャンネルと FM 受信機のチャンネルが異なる可能性があります。 受信機を Roger inspiro の10cm以内に近付け、追加キーを押してください。
原因 5）MicroLink CI S を使用の場合、MicroLink CI S の電源をオン（I）にしてください。 FM 受信機 MicroMLxS、MLxS を使用の場合、、スイッチの位置を「●」もしくは「●●」にしてください。
原因 6）送信機と受信機の組み合わせが正しくない可能性があります。Roger のみモードと Roger 受信機、Roger + FM モード と FM 受信機となっているか確認してください。

状況）使用できる距離が短い。
原因 1）マイクロホンのコードが Roger inspiro 本体に巻かれていたりねじれていたりしませんか。マイクロホンのコードはアンテナを兼ねています。外部入力機器を接続した状態でもマイクロホンのコードは全てほどき、伸ばした状態にしてください。
原因 2）マイクロホンのコードが傷ついたり切れていたりしませんか？断線している場合はマイクロホンの交換が必要です。マイクロホンの取り扱いには十分注意してください。

状況）FM 受信機と Roger inspiro が接続できない。
原因）Roger のみのモードになっている可能性があります。モードを Roger + FM に変更してください。 各種設定 / モード / Application Mode / Roger + FM

状況）Roger デジマスター（線音源スピーカー）がハウリングする。
原因）スピーカーと Roger inspiro との間でハウリングが起こっている可能性があります。スピーカーから少し離れるか、Roger inspiro の音量を下げてください。

状況）補聴器からノイズが聞こえる。
原因）Roger inspiro と受信機との距離が空き過ぎている可能性があります。距離を少し縮めてみてください。

状況）Roger inspiro を使っていないのに話し手の声が聞こえる。（FM 受信機の場合）
原因）同じもしくは隣接するチャンネルを使用している他の FM 送信機からの音が届いている可能性があります。チャンネルを変更するか、FM を使わない（補聴器だけの）プログラムに戻してください。

状況）外部入力機器（有線による）からの音量が小さい。
原因）音量設定が適切でない可能性があります。外部入力機器そのものの音量をあげるか、Roger inspiro の外部入力設定より変更を行ってください。

状況）Check を押しても受信機の読み込みがうまくいかない。
原因 1）お使いの受信機は Roger 受信機または ダイナミック FM 受信機ですか？チェック、チャンネル検出、登録データ確認、チャンネル情報、音量微調整、ビープ音等の設定は Roger 受信機および ダイナミック FM 受信機のみで可能です。
原因 2）Roger inspiro と読み込みたい受信機の距離を10cm以内に近づけてください。 Roger 受信機は1台ずつしか読み込みができません。ダイナミック FM 受信機は同時に 2台の読み込みが可能ですが多少時間がかかります。またパソコンなどの電磁波の影響を受けることがあるため、読み込みの際はパソコンから離れて行ってください。
原因 3）補聴器のバッテリー残量は十分にありますか？バッテリー残量が十分にあることを確認してください。
原因 4）補聴器、受信機の電源はオンですか？電源がオンになっていることを確認してください。

状況）Roger inspiro の電源をオンにしてもディスプレイが点灯せず、真っ暗のままです。または操作ボタンを押してもディスプレイがフリーズした状態です。
原因）本体の電源が切れる前や電源が入る前に、電源スイッチの入り切りの操作を行った際などに起こることがあります。 Roger inspiro をリセットします。 1. Roger inspiro の電源をオンの状態にします。ディスプレイは真っ暗の状態、またはフリーズした状態のままで構いません。 2. 右図の通り、Roger inspiro の4つのボタンを同時に押します。 3. Roger inspiro の電源をオフの状態にします。 4. ディスプレイが一瞬点灯しますが、また暗く戻ります。リセットが完了です。 5. Roger inspiro をリセットすると日時もリセットされます。操作メニューの “各種設定” から “日付／時刻設定” を行ってください （40ページを参照）。

15. 保証期間とアフターサービス

- 本製品（Roger inspiro 本体、付属の外部マイクロホン、AC アダプター）の無償保証期間は、お買い上げ日より2年間です。
- 不具合がある場合は修理します。
- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」などが記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼する際、お求めの販売店までご連絡ください。修理の際には保証書が必要です。
- 本製品のバッテリー交換は有償となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日本国内における保証期間
日本国内における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 2年間です。無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

日本国外における保証期間（国際保証）
日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、アクセサリーパーツ、電池、外部マイクロホンを除く機器本体となります。国際保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換･修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

保証適用除外
お客様または第三者の誤った使用･過失･改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、フォナックが指定するサービスセンターでのみ行ってください。また、専門家による調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

Local Warranty
Please ask the hearing care professional, where you purchased your hearing aid, about the terms of the local warranty.

International Warranty
Phonak offers you a one year limited international warranty valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid itself, but not accessories such as batteries, tubes, ear modules, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown. The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national and legislation governing sale of consumer goods.

Warranty Limitation
This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress. Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

16. 補足

補足1：FM チャンネル

Roger inspiro には干渉の可能性が低い組み合わせの6つのチャンネル H91、H92、H44、H96、H98、H99 が登録されています。干渉ノイズが発生したり、隣り合う部屋で FM ユーザーがいたりする場合、チャンネルを変更してください

標準規格	周波数帯（MHz）	フォナック登録チャンネル	干渉の少ないチャンネル※2
M01	169.4125	H91※1	H44、H96、H98、H99
M02	169.4375		
M03	169.4625		
M04	169.4875	H92	H96、H98、H99
M05	169.5125		
M06	169.5375		
M07	169.5625	H44	H91、H98、H99
M08	169.5875		
M09	169.6125		
M10	169.6375	H96	H91、H92、H99
M11	169.6625		
M12	169.6875		
M13	169.7125	H98	H91、H92、H44
M14	169.7375		
M15	169.7625		
M16	169.7875	H99	H91、H92、H44、H96

※ 1：通常、受信機のデフォルト・チャンネルは H91に設定されています。デフォルト・チャンネルは変更することができます。デフォルト・チャンネル変更希望の際は販売店までお問い合わせください。

※ 2：隣接した教室（上下左右の教室）で FM システムを使用する際は干渉の少ないチャンネルを組み合わせて使用する必要があります。例えば隣の教室が H91チャンネルの場合、その隣の教室は H44、H96、H98、H99チャンネルから選択してください。

※ 3：Roger inspiro（送信機）にはデフォルト・チャンネル機能がありません。Roger inspiro の電源をオンにすると直前に使用していたチャンネルが表示されます。

補足2：外部マイクロホンの交換

1. マイクロホンのコードをほどきます。

2. 本体裏面にあるボタンを反時計回りに回し、カバーを外します。

3. マイク接続部下にストッパーがあります。先の細いペンなどでストッパーを押し込みながらマイクプラグの溝に爪を差込み、ゆっくりと引き抜きます。コード部分を引っ張りすぎると断線の原因となりますので注意してください。

4. マイクの差し込む方向を合わせながら、しっかりと差し込んでください。

Memo

Memo

Memo

販売店名

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）
FAX 0120-23-4080

www.phonak.jp

029-0282-17/V2/201504/Printed in Japan©Phonak AG All rights reserved